

女性に多い病気!?

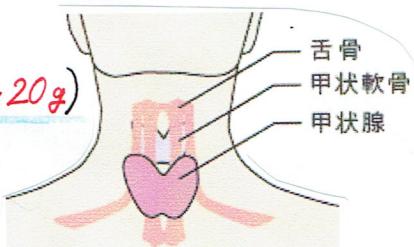
6月



あっという間に春が過ぎ去り、
紫陽花が綺麗に色づき始めました。季節の変わり目には、
体調を崩しやすいので体調管理に気を
つけて、梅雨の時期を乗り越えましょう。
今月は「甲状腺について」紹介します。

★甲状腺とは?★

のどぼとけの下にある器官で、蝶が羽を広げたような形をしています。(重量:約15~20g)
甲状腺は、血液中にホルモンを分泌して、代謝を正常に保つ大きな役割をもっています。



甲状腺ホルモンの分泌が低下したり過剰になったりすると様々な病状が現われます。心臓、糖尿病、更年期障害、またはうつ病、認知症など、別の病気に間違われやすい病気です。

★甲状腺機能異常の主な症状★

〈甲状腺ホルモンの分泌が低下〉『橋本病』

寒がる、食欲の低下、体重増加、
むくみ、だるさ、無気力、疲労、
うつ症状、眠気、便秘、徐脈、
月経不順、甲状腺の腫れ、しづがれ声



〈甲状腺ホルモンの分泌が過剰〉『バセドウ病』

暑がる、多量の汗をかく、食欲減少、
イライラ、感情的になる、筋力低下、
手指のふるえ、動悸、月経不順、
下痢、甲状腺の腫れ、眼窩突出



★原因と治療★

橋本病

(原因) 体が甲状腺を異物と認識し、抗体をつくり攻撃して、甲状腺ホルモンをつくる細胞を破壊した結果、甲状腺ホルモンの分泌が低下する。

(治療) 甲状腺ホルモン薬を服用して、不足している甲状腺ホルモンを補う。

バセドウ病

(原因) 体が甲状腺を異物と認識し、抗体をつくり攻撃して、甲状腺を刺激し続けて甲状腺ホルモンが過剰になってしまう。

(治療) 甲状腺ホルモンの分泌を抑える薬を服用して、症状を改善させる。また放射性ヨード治療や手術で甲状腺を切除する場合もある。

★妊娠と甲状腺★

甲状腺機能異常がある女性は、不妊・流産率が高いことがわかっています！

不妊症の女性の約10人に1人で軽度に甲状腺ホルモンが不足している状態であるといわれています。そのため、妊娠希望または妊娠中で、甲状腺機能異常が存在する場合は治療が必要となります。



★更年期と甲状腺★

更年期障害は40～50歳代の女性の多くにみられ、飛汗や冷え、動悸、頭痛、肩こり、憂うつといった症状を引き起こします。

これらの症状は橋本病やバセドウ病の症状によく似ています。更年期障害の治療で症状が改善しない場合は、甲状腺機能異常を疑い、検査を受けましょう。

ピンクレディけいちゃんこと増田恵子さんはバセドウ病だった!!

はじめの異変は、マイクを持つ手が震えたこと。若年性更年期障害だと自己判断したため、病気を3年も放置し、階段が登れないほど悪化してしまったそうです。バセドウ病は、めずらしい病気ではなく、適切な治療で回復します。しかし、治療をしないと心筋梗塞や脳梗塞など起こす可能性もあり、死につながる病気です。

けいちゃんのように自己判断せず、すぐに医師に相談しましょう。